



Governor's Monthly Letter

地区スローガン

「行動し、実践することにより、“ロータリーの輪”を広げよう」

2022-2023年度 ガバナー 森本 芳宣

2月は「平和構築と紛争予防月間」

2月23日 ロータリー創立記念日

「世界理解と平和の日」



「串本町 橋杭岩」

写真提供:中野 均(堺東RC)



イマジン
ロータリー

2022-2023年度 R | テーマ

国際ロータリー 第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331

和歌山市美園町3丁目34番地 けやきONE 301号室

TEL 073-426-2640 FAX 073-426-2660

URL <http://rid2640g.com/morimoto>



目次

RI会長 2月のメッセージ 1

2月のガバナーメッセージ 2

平和の推進 3

次年度 会長テーマ「世界に希望を広げよう」 4

国際協議会の報告 谷ガバナーエレクト 5

地区RYLAセミナー参加のご案内 6

RLI 参加のご案内 7

【RIニュース】

女性会員を増やそう！ /

パキスタンとウクライナ救援基金創設を承認 ... 8

専門性を生かすシェルターボックス 9

成功するクラブのレシピ「5つの材料」 10

ロータリーリーダーの成功をサポート 11

4月を環境月間に 12

【地区活動報告】

2023年度米山記念奨学生選考会 13

インターアクト国内研修 14-15

新会員の紹介 / 訃報 16

ハイライトよねやま Vol.274 17-18

コーディネーターニュース2月号 19-20

会員数報告(2022年12月) 21

My Rotary 登録状況(2023年2月) 22

2月の行事予定 23

2023-24年度 会長テーマ



ロータリーのビジョン声明

私たちは 世界で、地域社会で
そして自分自身の中で
持続可能な良い**変化を生むために**
人びとが**手を取り合って**
行動する世界を目指しています

より大きな **インパクト**をもたらす
参加者の 基盤を広げる
参加者の積極的な かかわりを促す
適応力を高める

ロータリーの中核的価値観

親睦
高潔性
多様性
奉仕
リーダーシップ

Rotary 

女児のエンパワメントは、公平性以上のことを作りだす

先日、ウガンダのナキバレ難民居住地に滞在しました。「居住地」という名前の通り、そこで人々は自由に行き来でき、住民たちができるだけ新しい暮らしになじめるように工夫されています。このことが、この難民居住地をユニークなものにしているのです。

十数カ国から集まった少年少女たちとサッカーをしたり、紛争地域から逃れてきた女性たちと話をしたりする機会がありましたが、まさに、涙と笑いで紡がれた人生のタペストリーでした。

居住地の学校内を先生が案内してくれて、女児の教育に関する厳しい現実を教えてくださいました。ほとんどの女児は小学校を卒業しないまま家計を助けるために結婚させられます。そのような女児を見て暗たんたる思いになりました。

女児と女性のエンパワメントという私たちの仕事は、公平性を創造するというだけの話ではありません。健康や教育に関わることもあります。それに、安全性の確保に関わることもあります。アプローチは違っても、常に、基本的人権の問題なのです。

私たちには、女児と女性のエンパワメントのためにもっとできることがあります。そして、ロータリーの会員とパートナーがこの目標に向けてどのように歩んできたのか、もっと情報発信していくべきです。

ナイジェリア女性のための無利子小口融資から、女児に生理用品を提供するインドでのプロジェクトまで、人々に感動を与えるロータリーの活動には枚挙にいとまがありません。ロータリーの重点分野で何百ものプロジェクトが行われており、大きな変化をもたらしています。そして、それらが時として人の命を救う結果になることもあります。

皆で力を合わせれば、世界中の女児が日常的に直面している不公平という問題にも、対処できます。同時に、ロータリー行動グループ、ロータリー財団専門家グループ、ロータリー平和フェローなどを含むロータリーのリソースや専門家の意識を高めるためにも、これらのプロジェクトの影響を監視していかななくてはなりません。

女児と女性の人生に、良い影響を与える取り組みのストーリーを発信していくことが特に重要です。この点は、個人的に深く共感しているところです。ソーシャルメディア、地元のニュースメディア、『ロータリーの友』、そして誰かにインスピレーションを与えられる、全ての機会をとらえ、ロータリーのストーリーを共有していきましょう。

また、地域だけでなく、世界中で活動しているロータリーの会員たちとの交流を促すような情報を発信することも重要です。皆の成功事例を共有し、互いに学び合ひましょう。そして、より多くの人々に誇りを持って私たちのストーリーを伝えていきましょう。

今や、ロータリーは大躍進の時代を迎えており、世界中で注目されています。女児や女性のポテンシャルが最大限に発揮できるようにロータリーが活動していけば、私たちロータリーはポジティブで持続的な変化を生み出すための会員増強とより強力なパートナーシップへの新しい道筋を切り開くことができます。この大事な取り組みのために、引き続きご協力をお願いいたします。

RI会長メッセージ

RI 指定記事



イマジン
ロータリー

PRESIDENT'S MESSAGE



ジェニファー・ジョーンズ
2022-23年度 国際ロータリー (RI) 会長



ナキバレの難民居住地でサッカーの試合を観戦するジョーンズRI会長とジンバブエの俳優シボンギレ・ムランボさん。異なる国籍の住民たちの間にコミュニティを構築する取り組みの一環です

ガバナー メッセージ

ガバナー 森本 芳宣

平和構築と紛争予防月間に寄せて

2月は平和構築と紛争予防月間です。

戦後、75年以上戦争を経験していない日本人が「平和構築」、「紛争予防」はあまり意識に上がらなかったところ、昨年2月24日ウクライナ紛争が勃発しました。

世界中が想定していなかった紛争によって、石油、ガス、エネルギーの高騰、穀倉地帯での紛争により世界における食糧危機、解決の糸口がないまま1年が経過しようとしています。

日本においても国防予算のアップが取り上げられ、コロナウィルスの感染症分類が5月に第5類に変更され、コロナとの戦いが終息に向かうかと期待される中紛争によって亡くなる人、負傷者の数、難民の数の増加と武器の供与及び武器に対する武器の対応のニュースを見るたび、早く解決に向かってほしいと祈る日々です。

ロータリーのウクライナに対する人道支援を見るにつけ、世界中のロータリアンが結集して一刻も早い「平和」な世界をとイマジンしたいと思います。



ロータリーは、ウクライナでの戦争による人命の喪失および人道的危機の深刻化を深く懸念しています。私たちは地域に根づいたネットワークと数十年にわたる経験を生かし、現地で迅速に行動を起こしています。

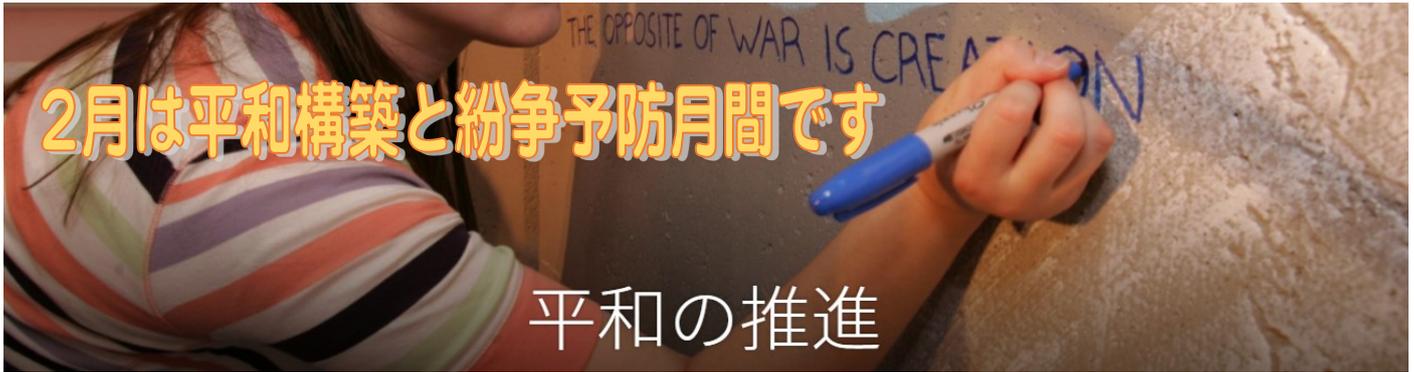
ロータリーの
重点分野

平和構築と紛争予防

Rotary 

地区スローガン

「行動し、実践することにより、“ロータリーの輪”を広げよう」



今日、紛争、暴力、弾劾、人権侵害によって家を追われた人の数は7000万人。その半数が子どもです。このような状況を、私たちは絶対に受け入れません。ロータリーは、異文化交流を通じて相互理解の心を育て、紛争解決のスキルを備えた人材の育成を通じて平和な世界づくりを促進しています。

平和な環境をつくるロータリー

人道的組織として、平和はロータリーの使命の礎となるものです。私たちは、地域社会での平和構築のために人びとが協力すれば、その変化が世界的な影響を生むと信じています。

ロータリー会員は、奉仕プロジェクトや平和フェロー・奨学生への支援を通じ、貧困、差別、民族間の衝突、教育機会の欠如、リソースの不平等な配分といった紛争の根底にある問題に取り組むために行動を起こしています。

ロータリーは、新たな課題に応えるために平和構築へのコミットメントを高めています。ロータリーが未来にインパクトをもたらすには何ができるか、持続可能な変化を目指すロータリーのビジョン声明をどのように実現できるか、といった課題に取り組むべく、ロータリーは「平和構築」の定義をさらに広げ、より多くの人々が平和構築に参加できる方法を見つけることで、団結と幅広い参画による平和という概念に基づくアプローチを取っています。ロータリーは、平和が可能となる環境を築いています。

平和の推進におけるロータリーの4つの役割

ロータリーとロータリー会員が担う役割

- ①実践者: 疾病との闘い、水と衛生、母子の健康、教育の支援、地域経済の発展といった分野でのロータリーの活動は、平和な社会への最適な条件を作り出します。
- ②教育者: ロータリー平和センターは、効果的な平和の推進者となる1,300人の平和フェローを育成してきました。卒業したフェローは、政府、教育、国際機関などで平和分野のキャリアを築いています。
- ③調停者: ロータリー会員は、ポリオの脅威にさらされた地域のすべての子どもにワクチンを投与するため、紛争地域における人道的停戦の交渉を行ってきました。
- ④提唱者: ロータリー会員は、平和構築や紛争後の復興プロセスに積極的にかかわり、重要な役割を果たしています。

ロータリーは平和を支援します

平和のためのロータリー行動グループは、平和に関する活動を充実させ、アイデアを実現させるためのリソースや支援をロータリー会員に提供しています。

2023-24年度 RI会長テーマを発表

「世界に希望を広げよう」

ロータリー国際協議会

ゴードン R. マッキナリー国際ロータリー会長エレクト(スコットランド)は、1月9日、米国ボストン州オーランドで開催中のロータリー国際協議会で講演し、2023-24年度会長この講演でマッキナリー氏は、問題を抱えた国で平和を推進し、紛争の影響を受けている人びとを助け、過去のリーダーたちが始めたいイニシアチブを発表しましたまた、世界の注目を集め、現在の期待をはるかに超える可能性を切り開いていくことを求めました。

私たちの目標は、破壊的な争いから世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことです。

平和の推進

世界に希望を生み出すような方法となるのは、平和に重点的に取り組むことだとマッキナリー氏は述べ、過去1年間、ロシア軍による重要な攻撃を受けたウクライナの人々びとを支援するためにロータリー会員が行動するしてきたことに同意しました。ロータリーが人道的支援に力を入れたことで、ウクライナでのロータリー会員数が増えています。地域で平和が実現しない限り、本当の安らぎはないと指摘しました。「平和とは、希望が根づくための土壌です」

継続の力についても強調し、過去のリーダーの取り組みを継続するよう会員にしました。で多様性、公平さ、インクルージョンを強調し続けていることを約束しました。また、ポリオ根絶への継続的な取り組みの重要性を物語る最近の一連の出来事にも触れました。世界各地でポリオ患者が再発しており、ロータリー会員がポリオ根絶大な活動をリードすることが今まで以上に重要となっています。

このため、ロータリーが毎年5,000万ドル以上を集め、ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの2倍額の上に載せる資金を確保しなければならない。現在、ポリオ根絶に寄付している会員は約12人に1人に過ぎず、毎年寄付しているクラブも5分の1を回っています。「ポリオのない世界」というロータリーのビジョンを



現するために、クラブの中に新たな緊急感を生み出すよう地区ガバナーエレクトの協力を求めました。なく、それを超えて考えるべき時が来ています。

メンタルヘルスへの取り組み

新型コロナウイルスの世界的な流行によって深刻化しているメンタルヘルスの問題の影響を受けている人たちに、ロータリー会員が希望を与えるべきだと述べました。その結果、世界でメンタルヘルスの問題に直面する人が増えています。しかし、助けを求めるとは弱さですの出現であると考えられることが少なくありません。「真実から目を向けることはできない」「助けを求めるとは勇気ある行動です。健康と幸せにいたる道を求めることは、さらに勇気が必要なことです」

次年度以降、ロータリーはメンタルヘルスサービスの改善に向けて 引き続きでいくとマッキナリー氏は続け、ロータリーは会員と認められる人の両方を支える組織として知られるべきだと述べました。なら誰もが口をそろえてこう言うでしょう。ほかの人を助けることで、本質的に自分自身が助けられるのだ、と」

講演の最後には、継続と革新の理想的なバランスについて述べました。変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中で平和を感じるより力を注げば、ロータリーはより平和で、希望のある世界を迎える旅ができます」

<https://www.rotary.org/ja/r-gordon-r-mcinally-wants-rotary-members-create-hope-world>

国際協議会の報告

ガバナーエレクト 谷 宗光

2023年国際協議会に参加して

私達、日本国内34地区のガバナーエレクトと、そのパートナーは、1月8日～12日の日程で行われる国際協議会に参加させて頂きました。



私は、1月7日の朝一番の飛行機で関空から羽田に入り、同じフライトで行く同期と合流し、米国はダラス経由、フロリダ州オーランドの地を目指しました。ダラスは、以前にも

トランジットをした事があったので、スムーズに同期の方々を先導する事が出来ました。

そして、オーランドの地に降り立ちますと、そこは正しくアメリカ！空は青く、温かい。嬉しい気持ちに一瞬なりましたが、明日からのプログラムを想像すると本当にブルー！に

8日、第1日目は、世界各国からの同期エレクトが続々と会場である、ローゼン・シングル・フリーク(オーランドで一番大きなコンベンションホール付ホテル)に到着後、登録とキットを受け取り、明日からの勉強会への準備をし、夕刻からガーデンテラスでの歓迎レセプションが行われました。



RI会長エレクトのゴードン・R・マッキナリー様はスコットランドの方なのでタータンチェックの巻きスカートにハイソックス姿の紳士達によるバグパイプ演奏などがありました。



9日、第2日目は、いよいよ開会・本会議の始まりです。直接対面式での開催は、2020年以来久しぶりと言う事で、会場内は凄く盛り上がっていました。その中

で、ゴードン会長エレクトの講演があり、テーマ発表「世界に希望を生み出そう」の説明がされました。そして午後からは分科会へと進んでいきます。朝の9:00～17:30またそれぞれのテーマで本会議・分科会を繰り返し、最終日12日まで行われました。



出発前にパストガバナーの方々から、国際協議会へ行ったら同期のエレクトと輪が出来、友情が芽生える！と言われていましたが、その通りでした。中でも優秀な？私達は、本会議・分科会の復習勉強を夕食後、平均23時半頃まで行っておりました。(いつも会場はホテルのバー)



そして、最終日の深夜、帰国に向けて出発だったのですが飛行機に乗って考えていた事は、ロータリーの本質・友情奉仕・多様性・公平さ・インクルージョンへのコミットメント・平和の推進・メンタルヘルスへの取り組み等々、地区に帰ってアップデートを行わなければならない事が沢山あるなと言う事でした。

そして、ハッ！と気づいてしまいました。時差14時間のフロリダに来て、オーランドってどんな町やった？覚えているのは、暗い空港と、青い空、アメリカらしいハイウェイ、会場であるホテル内だけだった事を…。



世界に希望を生み出そう

ロータリー青少年指導者養成プログラム

地区第41回ライラ研修セミナー参加のご案内

地区青少年・ライラ委員長 土屋 一博

期日 2023年3月25日(土)～3月27日(月)

場所 和歌山県立 武道館

和歌山市和歌浦西2丁目1-22

テーマ

武道からの学び (礼法・作法を理解してみよう)

募集資格

国際ロータリー第2640地区、ロータリアン及びその家族、会社従業員等区内ロータリークラブが支援、または奉仕プログラムの対象となっている、学生、留学生、社会人地区内ロータリークラブが認める上記学生を支援する関係者、教員、ホストファミリー等区内、ロータリークラブが認め、善良かつ、優秀な推薦者

対象年齢

ロータリアン、引率学校関係者、ホストファミリー等をのぞく 14歳以上、34歳以下

参加費用

ライラセミナー生(無料)

ロータリアン 1人(10,000円)

募集期間

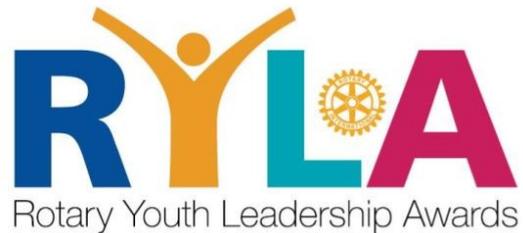
2023年1月20日～2月28日(2泊3日)

募集人員

ライラセミナー生 50名

(定員になり次第締め切り)

※ ライラセミナー生を、推薦されるロータリークラブは、ロータリー青少年保護の手引きを必ず、ご一読、ご確認、ご理解の程、よろしく申し上げます。



セミナーの主な内容(予定)

○研修(講演)

藤村 利行 氏

公益法人 和歌山県柔道連盟会長
わかやまスポーツ伝承館理事長

野村 豊和 氏

1972年ミュンヘンオリンピック柔道男子
70kg金メダリスト

(※オリンピック3連覇を果たした野村忠宏氏は甥にあたります)

○体験

柔道体験、能力開発体験、合気道等体験

バスセッション・個人レポート

1分間スピーチetc

○レクリエーション

紀州東照宮、玉津島神社・鹽竈神社

和歌浦天満宮、紀三井寺

○イベント

BBQキャンプファイヤー

多数の参加をお願いします。

※ 詳しくは、ガバナー事務所にお問い合わせください。

予告動画



https://youtu.be/D4zdDNgM_B4

和歌山県立 武道館

ロータリー・リーダーシップ研究会

RLI 参加のご案内

地区RLI委員長 細川 幸三

RLI オンライン (Zoom) 開催のご案内

開催日:

- パート I : 2023年3月12日 (日)
- パート II : 2023年4月 2日 (日)
- パート III : 2023年5月14日 (日)

対 象: 未修了者、クラブ会長、会長エレクト、次期クラブ幹事、クラブ研修リーダーの皆様はぜひとも受講ください。また、ロータリアンとしてのスキルアップを期す前向きな方(ロータリー歴は一切問いません)。 再度の受講も歓迎いたします。

参加費: 1,000円 (全てのパート受講3,000円)

資 料: RLI参加者テキスト(水色の本年度改訂版)地区事務所にて販売しております
(1冊1,000円・送料無料)

また、P D F版は地区HPよりダウンロードいただけます。

定 員: 各回36名(定員に達した段階で締め切ります。)

内 容: 50分を1セッションとし、1日6セッション行います。

申 込: クラブまたは申込者ご本人からメールにて下記締め切りまでにお申し込みください。

パート I 締め切り……3月 3日(金)まで

パート II 締め切り……3月17日(金)まで

パート III 締め切り……4月28日(金)まで

PART I セッション内容

- セッション1. ロータリーにおけるリーダーシップ
- セッション2. 私のロータリー世界
- セッション3. 倫理と職業奉仕
- セッション4. 財団 I 私たちの財団

セッション5. 会員の参加を促す

セッション6. 奉仕プロジェクトを創造する

PART II セッション内容

セッション1. 戦略計画とクラブの分析

セッション2. 効果的なリーダーシップ会員を勧誘する

セッション3. チーム作りとクラブコミュニケーション

セッション4. 米山記念奨学事業

セッション5. ロータリー財団 II 目標とする奉仕

セッション6. 強いクラブを創る

PART III セッション内容

セッション1. ロータリーの機会

セッション2. 効果的なリーダーシップ戦略

セッション3. ロータリー財団 III 国際奉仕

セッション4. 公共イメージと広報

セッション5. 規定審議会・決議審議会

セッション6. 変化をもたらす(共通)

※ ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立を目的とする大変有意義なプログラムです。多くの皆様に参加をお願いします。

詳しくは、ガバナー事務所へ

テ キ ス ト http://rid2640g.com/morimoto/download.html#download_d2640



ロータリー・リーダーシップ研究会
(Rotary Leadership Institute : RLI)

【RIニュース】

女性会員をもっと増やそう！

【ジョーンズ会長からクラブリーダーの皆さまへのお願い】

RIのジェニファー・ジョーンズ会長は、女性会員をもっと増やすこと、そして、素晴らしい新会員を募ってクラブの活性化を図り、生涯会員でいてもらえるように居心地の良さと配慮を心がけることをクラブリーダーに呼びかけています。



「クラブのリーダーにお願いがあります。女性のメンバーシップを増やすためにもっと世界中でやる必要があります。今年はちょっと上がっていますが、私たちはもっと良くできるし、しなければならないことを知っています。ロータリーがまた成長している。私がこれを書いている間に、私たちは1220万人のロータリアンを超えるまで、ほんの一握りのメンバーです。だから、素晴らしい新しいメンバーとクラブを盛り上げる努力を倍増させ、快適さとケアを提供することで、彼らを一生保ちましょう！」

あなたのクラブはどのように女性メンバーを増やすために取り組んでいますか？教えてください。

ROTARY ROTARY

パキスタンとウクライナの支援向けの基金の創設を承認

ロータリー財団管理委員会

ロータリー財団管理委員会は1月8日、極めて大きなニーズに直面しているパキスタンとウクライナを支援するための個別の基金を創設することを承認しました。

創設される「パキスタン洪水救援基金」と「ウクライナ救援基金」は、パキスタンで甚大な被害をもたらした洪水とウクライナでの戦争によって引き起こされた人道危機に取り組むためのものです。

これらの新たな基金を通じて、ロータリー会員が主導する救援活動に直接寄付できるようにします。

オンラインでの寄付方法、地区財団活動資金(DDF)の寄贈方法、補助金の申請方法など、基金に関する詳しい情報は数週間以内に入手可能となる予定です。

【RIニュース】



シェルターボックスは、災害救援における グローバルなパートナー

災害救援団体として世界的に知られるシェルターボックス(ShelterBox)は、年に8~10の家族を支援するロータリークラブのプロジェクトとして始まりました。以来、シェルターボックスはロータリーの重要なパートナー団体の一つとなっています。

過去20年間、多くのロータリー会員とクラブからのサポートにより、シェルターボックスは活動の柔軟性と規模を広げ、これまでに世界で支援してきた自然災害や紛争の被災者の数は200万人以上に上ります。

シェルターボックスの災害対応戦略では、ロータリー会員が大きな役割を担っています。ロータリークラブとロータリーアクトクラブは現地で幅広い人脈があります。このため、災害後にシェルターボックスが最初に連絡するのがこれらのクラブであることも少なくありません。また、シェルターボックスによる災害救援活動の多くにロータリー会員が参加しています。

シェルターボックスからの救援物資はさまざまな方法で届けられます。オリジナルの緑色の大きなボックスで届くこともあれば、ボランティアのチームがボートやヘリコプター、トラック、徒歩でキットを持参する場合があります。シェルターボックスとロータリーのロゴが入った緑色のボックスには、気候耐性のファミリーサイズのテントに加え、ソーラライトや調理器具などの物資が入っています。

現地で救援活動を行うボランティア(厳しい研修プログラムが義務づけられている)としてだけでなく、ロータリーはさまざまな形で救援活動を支援しています。シェルターボックスの救援チームは、現地のロータリー会員からの報告を基に、被災地の状況を把握し、運転手や交通手段、宿泊場所、通訳などを手配します。ロータリー会員はまた、関税や輸入の手続き、物資の保管場所や倉庫の確保、現地の自治体や政府担当者とシェルターボックスチームのつなぎ役といった援助も行います。

これに加え、ロータリーのクラブとボランティアは長期的な活動でも極めて重要な役割を担っています。地域に根づいて活動するロータリー会員は、救援団体による緊急対応が終わった後も、長期的な復興のために人びとと協力していくことができます。

「私たちの活動はシェルターの提供だけではありません。シェルターはあくまでその一部にすぎません」とクルテンさんは指摘します。「活動の焦点は、緊急シェルターを提供し、被災地の人びとが物理的・精神的に備えられるよう支援することです。しかし、被災者のニーズによりよく応えるために多様な支援も行っています。ロータリーとのパートナーシップは、被災者が元の生活に戻れるようにするために不可欠です」

両団体は互いに知識・情報を交換しています。ロータリークラブとロータリーアクトクラブは、被災地を助けたいという思いを、現地のニーズやパートナー団体からの情報を基に具体的かつ効果的な対応につなげる方法を、災害救援のエキスパートであるシェルターボックスから学ぶことができます。

モニタリング、評価、地域社会からのフィードバックを改善に生かすことを重視するシェルターボックスは、ロータリーと会員が災害救援の最新のベストプラクティスを学べるよう援助するとともに、クラブが知識を備え、災害に対応できるようにする方法を提示しています。

気候変動が引き起こす自然災害は、紛争もたらす被害を上回りつつあり、このパートナーシップのニーズが減る兆候はありません。世界の多くの地域で、今後は気候関連の第一の災害として洪水が増えると予測されています。海水温の上昇は、これまでより広い地域で大雨をもたらすことになるでしょう。ほかの地域でもより多くの干ばつが起きると予想されており、最近の東アフリカでの干ばつでは約5,000万人が食料不足に直面し、100万人以上のソマリア人が故郷を離れることとなりました。シェルターボックスの調査によると、今後20年間に気候変動が原因で1億6,700万戸の家が失われると予測されています。

こうしたニーズによりよく対応するには、よりよい備えが必要とされます。だからこそシェルターボックスは、ロータリークラブ、ロータリーアクトクラブと積極的に協力して対策を整え、堅固なネットワークを築き、国際レベルや地区とクラブでの活動(ロータリーアクト会員とインターアクト会員も含む)で会員が最新の知識をもって持続可能なソリューションを生み出せるようにしています。

例会や行事にシェルターボックスから講演者を招くことや、地元でのシェルターボックスとの協力や災害対策について関心のある方は、rotaryrequest@shelterbox.orgにご連絡ください。

【RIニュース】



パティシエがさまざまな材料を混ぜあわせておいしいケーキを焼くように、ロータリーでもいろんな「材料」をうまく混ぜあわせることで優れたクラブが出来上がります。さまざまな材料の中で、私が最も大切だと思った5つの材料をここにご紹介したいと思います。

材料1「独自の個性」

私の住む町には4つのクラブがあり、互いに近接していますが、それぞれが独自の個性をもっています。

- クラブ1 夕食例会。30人の会員が長年一緒に活動しており、ロータリー財団と地区への寄付が多い。
- クラブ2 朝食例会。年配の会員と若い会員がバランスよくおり、ローターアクトクラブとインターアクトクラブを熱心にサポートしている。
- クラブ3 昼食例会。クラブの伝統に誇りを持ち、国内外のプロジェクトに力を入れている。
- クラブ4 朝食例会。創立15年で、会員の出身国は11カ国、話す言葉は9カ国語。

材料2「参加意欲を引き出す例会」

例会に「正しい形式」というものはありません。新型コロナウイルス流行により柔軟性と創造力へのニーズが高まっており、バーチャルと直接対面(またはその組み合わせ)で例会を開くことができます。肝心なのは「参加意欲を引き出す」例会であることです。成功しているクラブは、会員の関心や時事に沿った多種多様なトピックについて興味深い話ができる卓話ゲストを見つけ、出席へのモチベーションを高めています。また、お知らせや事務的な用件に費やす時間を短くする、新会員やゲストへの挨拶係を置くことで親近感を生み出す、会員の誕生日を祝う、全会員が何らかの形で参加できる方法を取り入れるなど、さまざまな工夫をしています。

材料3「会員の関心に応じた奉仕活動」

奉仕はロータリーの中核的価値観であり、成功する

クラブの中核には常に奉仕があります。会員は地元地域に貢献したいと考えており、その方法は数多くあります。会員が参加したいと考えている奉仕活動とは、どのようなものでしょうか？地元での活動、それとも海外での活動でしょうか？特定の重点分野と関連しているでしょうか？クラブでアンケート調査を実施して会員の要望を調べてみましょう。また、会員の関心は年月とともに変わる可能性があるため、毎年アンケート調査を行い、会員の期待に応える奉仕の機会を提供しましょう。

材料4「心から楽しめる交流」

成功するクラブでは、会員が互いの交流を心から楽しんでいきます。例会、奉仕活動、募金活動、ピクニック、そのほかの集まりなど、交流の機会を積極的につくり出しています。このようなクラブでは、真の友情が生まれ、ロータリー外で付き合い会員も多くなります。また、生き生きと楽しく会員同士が打ち解けている様子や温かい雰囲気を入会候補者に感じてもらうことができます。

材料5「優れたリーダー」

五つ星レストランの成功の裏には、必ず優れたシェフとスタッフがいます。これと同じように、成功するクラブには、ダイナミックなリーダーシップチームが必要です。熱心で明確なビジョンをもった会長、そして会長が入念に選んだリーダーシップチームが定期的に会合し、新しいアイデアを話し合い、問題を解決し、奉仕と親睦の計画を立てながら、クラブの方向性を定め、会員の要望やニーズに耳を傾け、将来のクラブリーダーを開拓し育てることが出来ます。

成功するクラブの5つの「材料」をどのように生かせるかを、ぜひ考えてみてください。有名パティシエが材料にひねりを加えたり、材料の配分を変えたりして最高のケーキを作ろうとするのと同じように、クラブでも5つの材料をうまく混ぜ合わせ、独自のひねりを加えることで、優れたクラブを実現できるでしょう。



【RIニュース】



ロータリーリーダー クラブと地区のリーダーの成功をサポート

ロータリー平和フェローの候補者を募る

地区とロータリークラブ/ローターアウトクラブは、平和フェロー候補者の募集と推薦において大切な役割を担っています。ロータリー財団は毎年、平和や開発の分野のリーダーが、世界各地の有名大学にあるいずれかのロータリー平和センターで学ぶためのフェローシップ(奨学金)を提供しています。フェローは、修士号取得プログラムか専門開発能力修了証プログラムのいずれかで学びます。申請書の受付期間は今年2月初旬から5月15日までとなり、選ばれたフェローは2024年に学業を開始します。[申請資格と要件はこちらからご覧ください。](#)



平和フェローシップ

変化をもたらすことや平和構築に関する経験のある社会人をご存知の方は、費用が全額支給されるロータリー平和フェローシップに申請できるようサポートしましょう。平和フェローの選考における会員の役割や協力方法については、地区ロータリー平和フェローシップ小委員会委員長に連絡してお尋ねください。2002年にロータリー平和センタープログラムが創設された2002年以来、1,600人以上フェローがプログラムを卒業し、現在、140か国以上で平和構築と開発の分野で活躍しています。その多くは、政府機関、非政府組織、教育・研究機関、平和維持機関や警察、UNICEF(国連児童基金)、国連、世界銀行、国際赤十字などの国際組織のリーダーとなっています。ロータリー平和センターのフェイスブックページをフォローし、フェローの最新情報をご覧ください。

行動計画

データを重視したプロジェクトの実施

ロータリーを通じたすべての出会いは、ロータリーへの参加を通じて何が出来るのかを伝える機会となります。アイザック・B・オウオラビさん(米国、アシュビル・ビルトモア・ロータリークラブ)は、積極的な参加を促すためにクラブが[すべての参加者を大切にすること](#)の重要性を説明しています。



より持続可能で大きな変化をもたらすには、奉仕プロジェクトでデータを収集、測定、記録、分析することが重要です。また、クラブと地区がプロジェクトの明確な目標を立て、達成に必要なステップを入念に計画することで、インパ

クトを大幅に高めることができます。クラブで地域社会のニーズに関する情報を集め、活動前と活動後における評価を行いながら、データに基づく決定を行っているでしょうか。行動計画を実践するためのクラブの活動事例を、こちらの[フォーム](#)からお寄せください。

国際大会

メルボルン国際大会を推進しよう

ロータリー国際大会に出席し、世界中から集まった会員の多様性に圧倒されたことはありませんか?あるいは、地域社会や世界に持続可能な変化を生むために人びとをつなげるロータリーを力を実感したことはありませんか?そんな体験をほかの会員にも味わってもらうために、5月27日~31日にメルボルン(オーストラリア)開催される2023年ロータリー国際大会への登録を呼びかけましょう。



国際大会に出席してはじめて、真のロータリアンやローターアクターとなり、国際奉仕に情熱を注ぐようになったという人もいます。ベテラン会員の方も、ロータリーについて新たな理解を深めることができるでしょう。今年の国際大会の推進に役立つリソースをまとめた[こちらのページ](#)もご覧ください。また、オーストラリアの文化、料理、スポーツ、ショッピングの中心地として地元の人たちが誇りとするメルボルンの魅力を[こちらの記事](#)でお読みください。

会員増強

地区リーダーのための新しいリソース

地区リーダーのための「ロータリーの成長を導くイベントを計画しよう。会員増強とマーケティングのガイド」が利用可能となりました。このガイドには、大規模なロータリーのイベントを通じて生まれた人びとの関心を会員増強につなげるための行動計画策定のステップが説明されています。この取り組みを担当するチームの編成、成長に向けたクラブの準備、広報、入会候補者へのアプローチの方法など、役立つヒントをご覧ください。このガイドには、以下の新しいリソースへのリンクも含まれています。

[公共イメージ委員長のチェックリスト](#)

[入会候補者向けイベントの開催](#)

[入会候補者への連絡テンプレート\(クラブ用\)](#)

[入会候補者への連絡テンプレート\(地区用\)](#)

[インターネット上の存在感に関するチェックリスト](#)

【RIニュース】

4月 環境月間

- 1月：職業奉仕月間
- 2月：平和構築と紛争予防月間
- 3月：水と衛生月間
- 4月：環境月間**
- 5月：青少年奉仕月間
- 6月：ロータリー親睦活動月間
- 7月：母子の健康月間**
- 8月：会員増強・新クラブ結成推進月間
- 9月：基本的教育と識字率向上月間
- 10月：地域社会の経済発展月間
- 11月：ロータリー財団月間
- 12月：疾病予防と治療月間



「環境」がロータリーの重点分野に加わったことを受け、国際ロータリー理事会は、4月を「環境月間」とすることに同意しました。これによって、7月が「母子の健康月間」となります。
2023年01月06日



「積極的平和」が教える持続可能な
平和づくり

積極的平和の8つの要素

- 政府が十分に機能していること
- ビジネス環境が良好であること
- 他者の人権を受け入れること
- 隣国との関係が良好であること
- 情報の流通が自由に行われること
- 人的資本のレベルが高いこと
- 腐敗／汚職のレベルが低いこと
- 資源が公平に配分されること

[世界平和度指数](#) (2020年6月)

【地区活動報告】

2023年度米山記念奨学生選考会

地区米山記念奨学委員長 玉井 洋司

2023年度米山記念奨学生の選考会をりんくう物流センター会議室において1月15日に開催しました。

地区内に所在する指定校8大学から22名の受験者を選考し、16名を内定しました。2023学年度当地区の奨学生は、今回採用の16名継続奨学生6名の22名となり4月9日に入学式を開催し、2023学年度のスタートをします。

選考会の審査員には、森本ガバナーをはじめ、樫畑奨学会理事他、委員2名の計4名と米山記念奨学委員がフリートーキング審査員として参加しました。



【地区活動報告】

地区インターアクトクラブ 国内研修



地区インターアクト委員長 渡辺 隆一

新型コロナ禍等諸般の事情に鑑み、今年度は2022年12月27日(水)～29日(金)の3日間の日程で、宮城県気仙沼市および陸前高田市への国内研修を実施いたしました。今回は、研修地を海外ではなく国内にして約3年ぶりの開催となりました。

今回の国内研修では、気仙沼市東日本大震災遺構伝承館の見学、当館の語り部メンバーとの交流、陸前高田津波伝承館・奇跡の一本松見学、大谷海岸ビーチクリーン等の活動、内湾清掃ボランティア、男山本店店舗見学と、さまざまなプログラムを実施し、震災の記憶と教訓について、各校IACの生徒さんたちだけでなく、顧問の先生がた、我々ロータリアンも一緒に学ぶことができました。

箕面ユネスコ協会会長の坂口一美(さかぐちひとみ)さま(気仙沼市出身)には、本国内研修のコーディネーターとして、大変ご尽力いただきました。この紙面をお借りしまして改めて御礼申し上げます。

本国内研修では、特に病気等の発生もなく、和気あいあいと楽しく行うことができました。久しぶりの今回の国内研修の開催にあたり、ご尽力いただきましたすべてのみなさまに深く感謝申し上げます。



【次ページへ】



写真提供 河内長野高野街道 安井 史郎

新会員の紹介

	クラブ名	堺ロータリークラブ
	氏名	やの たかひろ 矢野 貴広
	職業分類	証券業
	生年月日	1975年5月10日
	入会年月日	2022年12月8日

**ロータリーで
自分の可能性を
広げよう**

奉仕と友情の輪を広げよう

ロータリーを体験し 可能性を発見しよう

ロータリーへようこそ！

地域社会を基盤により良い世界をめざして活動する140万人の会員から成る世界的ネットワーク、ロータリーへようこそ。

ロータリーの強さは、会員にあります。会員一人ひとりがクラブにもたらすスキル、経験、熱意が、それぞれの地域に、そして世界に変化をもたらします。会員が一体となれば、子どもたちを苦しめるポリオ(急性灰白髄炎)を世界からなくし、平和の担い手を育て、疾病、飢餓、識字、貧困といった問題も少しずつ解決できると私たちは信じています。

交流を通じてアイデアを広げ、社会奉仕への熱意を共にする人たちと生涯にわたる友情を築く。それが、ロータリーのコミュニティです。クラブ、地区、国際ロータリーのリソースを最大限に活用し、積極的に参加してください。

訃言 幸反

故人の功績を称え 謹んでお悔やみ申し上げます

岸和田東ロータリークラブ



きど のぶお
木戸 伸男 様

2022年12月5日 逝去

在籍期間 11年
職業分類 公認会計士
表彰 マルチプル・ポール
ハリスフェロー①
第1回米山功労者

和歌山南ロータリークラブ



やまなか せい
山中 静 様

2022年12月29日 逝去

在籍期間 61年8カ月
職業分類 公認会計士
表彰 マルチプル・ポール
ハリスフェロー④
米山功労者④

和泉ロータリークラブ



つじ しゅんいちろう
達 俊一郎 様

2022年12月18日 逝去

在籍期間 61年8カ月
職業分類 司法書士
表彰 PHF +2
第4回
米山功労者マルチプル



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol.

274

2023年1月13日
発行

1. 2人目の紺綬褒章受章者が誕生

国際ロータリー第2750地区（東京都）東京中央RC会員の大津 穰氏が、ロータリー米山記念奨学会への寄付により、昨年9月27日に紺綬褒章飾版を受章され、12月15日の同クラブ例会にて褒章伝達式が行われました。

当会では2018年9月に紺綬褒章の公益団体認定を受けて以来、大津氏が2人目の受章者です。紺綬褒章は、公益のために私財を寄付した者に与えられ、飾版は、すでに褒章を受章した者が同種の褒章を受章した場合に授与されます。大津氏は他団体への寄付を含め、自身2度目の受章となります。褒章伝達式当日は、お祝いに駆けつけた同地区の三浦眞一理事、柳田一行米山記念奨学委員長がご臨席のもと、当会の相澤光春副理事長から褒章が伝達されました。

大津氏は、「紺綬褒章の受章を大変嬉しく思い

ます。今後のロータリーの発展と、米山記念奨学事業が目指す、世界平和の実現のために力になれるように努めてまいります」と述べ、会員の皆さまから温かい拍手が送られました。



褒章を受け取った大津氏(中央)

2. 寄付金速報 — 下期普通寄付のお願い —

前年同期比

+ 7.4%

普 - 1.1% 特 + 10.6%

12月までの寄付金は前年同期と比べて7.4%増（普通寄付金:1.1%減、特別寄付金:10.6%増）、約6,300万円の増加となりました。12月単月の特別寄付金において

は前年より2,600万円増となり、2009年度以降で最大の寄付額となりました。高額寄付の件数も多く、皆さまからのご支援に深く感謝申し上げます。1月中旬には「2022年度下期普通寄付金のお願い」を当会から各クラブへお送りする予定です。年初早々からのお願いとなり、大変恐縮ではございますが、今後ともご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

3. 次期地区米山奨学委員長セミナー開催報告

12月7日、2023-24年度地区米山記念奨学委員長を対象とする第1回セミナーを、感染対策を徹底した都内会場で開催しました。

午前の部は、若林紀男理事長の挨拶、神野重行常務理事の講話から始まり、寄付、学務関連について事務局から説明。滝澤功治副理事長からは、学友会に関する規程についてご説明いただきました。

午後の部では、事務局から広報関連、来年8月開催予定の「再会 in 関東」について紹介。事例発表として、大久保章宏理事から、今や第2800地区（山形）の地区大会シーズン恒例行事とな

った「米山ナイト」の取り組みについてご紹介いただきました。同じく事例発表として、第2700地区（福岡・長崎・佐賀）の吉田廣幸次期米山委員長から、同地区の寄付増進の取り組みについてご紹介いただきました。その後、4グループに分かれて「寄付増進について」、「指定校選定と奨学生選考について」、「学友・学友会について」、「奨学生の選考と危機管理について」などをテーマにディスカッションと各グループからの報告が行われ、質疑応答を経て、井原實常務理事の講評で締めくくられました。

4. 台湾米山学友会が総会を開催

12月10日、台湾米山学友会の年次大会が台北市内で開催され、同時にオンラインでもライブ配信されました。3年ぶりに国外からの会場参加が可能となった今回、台湾在住学友とロータリアン、そして、同学友会が支援する日本人奨学生のほか、日本からも多くの参加者が現地に集まりました。

総会は、林志昇^{リン シンショウ}理事長（1992-94/津RC）の開会の挨拶で幕を開け、韓国米山学友会の全炳台^{ジョンピョングテ}会長（1980-83/仙台北RC）、当会からは、滝澤功治副理事長が出席し、日ごろからの積極的な支援活動への感謝を述べました。また、同学友会は独自で現地日本人奨学生を長く

支援しており、会場参加した奨学生5人が流ちょうな中国語で自己紹介を行い、温かい拍手が送られました。久々の対面での総会で、改めて米山のつながりを確認することができた同学友会は今年、節目の創立40周年を迎えます。



5. ウクライナから避難した学友 —母校が受け入れ—

ウクライナ出身の米山学友、コベリャンスカ・オクサーナさん（1998-99/奈良RC）が12月15日、自身の世話クラブであった奈良RCの例会にて卓話を行いました。オクサーナさんは、ウクライナの情勢悪化を機に、母国からの避難を余儀なくされ、米山奨学生時代に自身の留学先であった天理大学と天理市のサポートにより来日。2022年4月から、同大学の職員として勤務しています。オクサーナさんによる、スピーチの冒頭の一部をご紹介します。

「私は1995年に天理大学に留学し、98年に奈良RCの米山奨学生になりました。当時のウクライナは旧ソビエト連邦から独立し、経済や政治体制の構築を始めたばかりで、国家的に変な時期でした。来日後も、両親からの支援は

望めず、生活費を稼ぐので精一杯でした。米山奨学生になったことは、勉学に集中できることを意味し、とてもありがたかったです。最初に参加した例会で、奈良RCの会長が『この奨学金は、学生を支援するためのものです。勉強する時間を確保するためのものです。そして帰国後は日本に関連した活動を続けてほしい。それぞれの国で、日本語や日本文化を広め、自国との国際関係を促進することを望んでいます。これが、私たちの未来への貢献です。それを忘れないでください』と、仰いました。この言葉は今でもはっきりと覚えています。初めて奨学金をもらったとき、喜びだけでなく、自分の中で責任感と覚悟を感じました。会長の言葉の通り、私はこれまでに、約30の研究論文、4冊の辞書、2冊の日本語・日本文化学習者向けの教科書を出版するなど、人生の大半を日本と関わりながら過ごしてきました。今回、このようなご支援をいただいた、母校の天理大学と天理市、そして日本の皆さまに心から感謝の気持ちを申し上げます。ロータリー米山記念奨学会の事業は、日本語や日本文化を世界に広めるためにも重要な活動であることをお伝えしたいと思います。米山の繁栄と、多くの感謝の気持ちを持った学生たちが、それぞれの国で日本との国際関係を強化するために活動を続けてくれることを祈念します」。



卓話を行うオクサーナさん

第3地域 コーディネーター補佐

庄司 尚史(境港RC)

ガバナーエレクトの皆さんは大変忙しい時期になりました。1月の国際協議会にご苦労さまでした。3年ぶりのリアルでの集まり、初めてのオランダでの開催と興味津々です。次年度に向けてゴードンR.マッキナリーRI会長エレクトの方針をそれぞれの地区でどう具現化するか検討中だと思います。



「世界に希望を生み出そう」というテーマの中に世界平和を目指すロータリーの並々ならぬ意欲を感じます。すべてのロータリアンが一日も早くウクライナに平穏な日々が戻ることを望んでいます。

ゴードン会長エレクトのテーマ講演の中で私が驚いた数字の発表がありました。それはポリオプラスに関するものです。「ポリオ根絶キャンペーンに寄付をしているロータリー会員は12人に1人に過ぎない。毎年寄付をしているクラブは5分の1を下回っている」というものです。RIの最優先課題のポリオ根絶のためにまだまだ努力が必要だと感じました。日本では佐藤芳郎RI理事のご提唱で、昨年の10月24日の世界ポリオデーのイベントが全国各地で開催されました。11月のロータリー研究会でフォトコンテストがあり大変好評でした。次年度も引き続き開催してほしいという声をあちこちから聞きました。日本からポリオ根絶の盛り上がり世界に広げたいものです。次年度との連携が大切です。ポリオ根絶のテーマを是非次年度に引き継いでいきましょう。

今年度もまだまだ時間が残っています。コロナ禍の中でクラブの活力はいかがでしょうか？ ガバナー、クラブ会長の皆さんの頑張りどころだと思います。RI細則16.030.にはガバナーの任務が明記しており、その(a)には「新クラブを結成すること」とあります。お忘れになっているガバナーもいらっしゃるでしょう。大変ハードルが高い任務だとお思いでしょう。私も実現できませんでした。今年度達成した地区は僅かですがあります。まだの地区は衛星クラブを検討されてはいかがでしょうか？ 8人揃えば結成できます。スポンサークラブの会長の実行力に期待です。地区として後押しをお願いします。

会員増強もご苦労が続いています。国内の会員数は2022-23年度10月末のデータ(ロータリーの友1月号)を見ると対前年比335人の減少です。私が所属するクラブは2名の純増ですが次年度に向けて検討していることがあります。それは「法人会員」制度の導入です。ロータリーの名前は知っているが実際に時間が取れない等しり込みをされている法人があります。クラブに代理の社員さんを派遣していただくことは双方にメリットがあると考えます。皆さんもご検討してみてください。

第3地域 公共イメージコーディネーター補佐

簡 仁一(茨木RC)

今年度から第3地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐を拝命しました茨木RCの簡仁一と申します。よろしくお願いたします。



ロータリー公共イメージコーディネーターは今年度、佐藤芳郎RI理事から要請を受け、世界ポリオデーの広報を担当し、ポータルサイトを立ち上げました。各地区、各クラブが独自に実施していた行事を計画段階から一元化し、情報を共有することで、活動をこれまで以上に活性化することが目的です。2021年に2750地区が実施した「トレインジャックプロジェクト」など、他クラブの実施事例も紹介されています。

また、世界ポリオデーイベントとして「フォトコンテスト」を開催しました。ポリオ根絶への願いを伝える写真を募ったところ、157点が集まりました。

地域リーダーによるウェブ投票で10点の入賞作が決まり、昨年11月にロータリー研究会の会場となった神戸ポートピアホテルに展示しました。熱心に見入る方々が多く、研究会では、ジョーンズRI会長賞など5点が表彰されました。

ジョーンズRI会長賞に選ばれたのは、「やったあー！」というタイトルからも伝わる、熱い思いが込められた写真です。昨年の世界ポリオデーにあわせて、2750地区の宮崎陽市郎ガバナーエレクト(東京三鷹RC)が、北海道の宗谷岬から鹿児島島の佐多岬まで3週間余りをかけて日本縦断を敢行し、ゴールされた瞬間をとらえています。お酒を断って準備にあたり、成し遂げられた宮崎ガバナーエレクトの表情とともに、シャパンをかけて祝う鹿児島西RCの仲間の笑顔にも魅せられます。

ほかにも、募金箱を手に街角に立つ少女や、東大寺の大仏に願いをささげるローターアクターの姿など心あたたまるカットも数々あり、「名カメラマン」の皆さんの視点と腕に感じ入りました。

ポリオの症例は1988年以来、99.9%減少し、現在もポリオが常在する国はアフガニスタンとパキスタンの2か国のみです。

ポータルサイト、そして、皆さんの気持ちを凝縮した写真が寄せられたフォトコンテストが、ポリオ根絶実現に少しでも役立つよう願っています。



【次ページへ】

第3地域 財団地域コーディネーター補佐
吉原 久司(尾道RC)

第3地域ロータリー財団地域コーディネーター補佐に就任して1年目が終わろうとしていた頃、先輩コーディネーターから「地域リーダーがそれぞれ個別に活動していたのでは、効果が分散してしまうので、出来るだけ多くの地域リーダーを巻き込み、集中した活動をするように。」と助言されました。



その最も重要な活動は、佐藤芳郎RC理事が推奨された「日本POLIO-DAY」を実施し、みんなでポリオブラスを盛り上げようということでしたが、残念ながら、私の地区・クラブでは、準備不足のため、中途半端に終わってしまいましたので、反省を込めて、次年度に向けてのアイデアをご提案してみたいと思います。

「地域リーダーを巻き込んだ集中した活動」の具体的なイベントとして、ゴルフ大会、野球大会といった運動系、ヒストリックカー、ラリー、ドライブなどの趣味系、ワイン、料理などの家族会系、地域に以前からある祭りに協賛する地域密着系などがあります。いずれにしても大切なのは、その活動をどのようにメディアにアピールしてもらうか、そしてロータリアンのみならず、ローターアクター、インターアクター、その他の地域の方々とどれだけ結集できるかにかかってくると思います。

例えば、ポリオブラスのイベント企画し開催する場合の道筋として

- ① イベントを企画・開催と地域リーダー
チャリティー等の企画・開催 ⇒ RRFC・EPNC
ラジオ・新聞・テレビ等メディアを通してアピール ⇒ RPIC
ロータリアンだけでなく幅広く地域の人々を結集して開催 ⇒ RC
- ② 開催したイベントについて、報告会や表彰をする機会を持つ
オープン例会を開催し、幅広い形で周知する ⇒ RC
地区大会での表彰、ガバナー月信、地区ホームページで取り上げる ⇒ RPIC
イベント等のコミュニケーションの場を借りて入会勧誘を行う ⇒ RC
RRFC(ロータリー財団地域コーディネーター)、EPNC(ポリオ根絶コーディネーター)、RPIC(ロータリー公共

イメージコーディネーター)、RC(ロータリーコーディネーター)は、いつでも、各クラブ・地区への協力を惜しみませんので、お声がけ頂ければと思います。

ガイ・ガンディカー氏(1923-24RI会長)は「ロータリー通解」<自己の職業分野と社会に対するロータリアンの義務と責任>の中で、ロータリアンがクラブの中で学んだことを、自己の職業分野や地域の方々に進んで啓蒙するようにと説いており、平素からロータリーの原理と理想を説き、ロータリーの他人に対する思いやりの精神とロータリーの職業倫理基準を伝える義務を負っているとまで述べています。

「地域リーダーを巻き込んだ集中した活動」など、色々なイベントを開催するにあたり大切なのは、こういった日常のロータリアンの活動であり、引いては、これらが会員勧誘に通ずる重要なことであると痛感しました。



ロータリー財団は、皆さまからのご寄付を世界各地での奉仕活動に役立てています。

100年以上も前に創立されて以来、ロータリー財団は、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額40億ドル以上の資金を提供してきました。

一つひとつのご寄付により、世界中の地域社会を少しずつ変えていくことができます。

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

寄付が世界にもたらす影響

わずか60セントで、1人の子どもをポリオから守ることができます。

50ドルで、水を介する疾病から人びとを守るために安全な水を提供することができます。

500ドルで、いじめ撲滅キャンペーンを立ち上げ、子どもたちに安全な環境をつくることができます。

第2640地区 会員数報告(2022年12月)

クラブ名	会員数				入会			退会			クラブ名	会員数				入会			退会		
	22.7.1	内女性	22.12月末	内女性	12月	内女性	累計	12月	内女性	累計		22.7.1	内女性	22.12月末	内女性	12月	内女性	累計	12月	内女性	累計
串本	6	1	6	1	0	0	0	0	0	0	松原	14	0	14	0	0	0	0	0	0	0
那智勝浦	11	0	11	0	0	0	0	0	0	0	松原中	24	3	24	3	0	0	0	0	0	0
新宮	49	2	50	2	0	0	1	0	0	0	美原	5	1	4	1	0	0	0	0	0	1
白浜	10	1	10	1	0	0	0	0	0	0	大阪狭山	8	1	8	1	0	0	0	0	0	0
田辺	83	3	83	3	0	0	2	1	0	2	太子	17	1	17	1	0	0	0	0	0	0
田辺東	37	3	37	3	0	0	0	0	0	0	富田林	34	0	34	0	0	0	0	0	0	0
田辺はまゆう	27	5	31	6	0	0	5	1	0	1	泉佐野	19	0	21	0	0	0	3	1	0	1
有田	26	1	26	1	0	0	0	0	0	0	貝塚	14	1	14	1	0	0	0	0	0	0
有田南	23	1	23	2	0	0	1	1	0	1	貝塚コスモス	11	3	11	3	0	0	0	0	0	0
有田2000	15	0	15	0	0	0	0	0	0	0	関西国際空港	17	1	16	1	0	0	0	1	0	1
御坊	39	3	38	3	0	0	0	0	0	1	岸和田	31	1	32	1	0	0	3	0	0	1
御坊東	14	0	13	0	0	0	0	0	0	1	岸和田東	39	6	39	6	0	0	1	1	0	1
御坊南	15	6	15	6	0	0	0	0	0	0	岸和田南	7	0	7	0	0	0	0	0	0	2
海南	9	0	8	0	0	0	0	0	0	0	KUMATORI向日美	8	2	8	2	0	0	0	0	0	0
海南東	40	5	44	6	0	0	5	1	0	1	りんくう泉佐野	16	3	16	3	0	0	0	0	0	0
海南西	16	1	15	1	0	0	0	0	0	1	羽衣	15	1	16	0	0	0	3	1	0	2
Rotary E-Club Sunrise of Japan	7	2	7	2	0	0	0	0	0	0	和泉	22	0	20	0	0	0	0	2	0	2
和歌山	73	1	74	1	0	0	3	1	0	2	泉大津	44	3	42	3	0	0	1	2	0	2
和歌山アゼリア	28	9	28	9	0	0	0	0	0	0	和泉南	57	2	57	2	0	0	0	0	0	0
和歌山東	42	0	50	0	0	0	8	0	0	0	大阪金剛	13	1	12	1	0	0	0	0	0	1
和歌山城南	37	1	36	2	0	0	1	0	0	2	高石	24	1	25	1	0	0	2	0	0	1
和歌山中	21	0	20	0	0	0	0	1	0	1	高師浜	11	1	11	1	0	0	0	0	0	0
和歌山北	29	1	33	1	0	0	4	0	0	0	堺	39	4	41	4	1	0	3	0	0	1
和歌山南	70	4	71	6	0	0	4	3	0	3	堺東	16	2	15	2	0	0	0	1	0	1
和歌山東南	35	5	34	5	0	0	0	1	0	1	堺泉ヶ丘	23	3	23	3	0	0	0	0	0	0
和歌山西	9	1	10	1	0	0	1	0	0	0	堺中	20	3	20	3	0	0	0	0	0	0
橋本	45	0	45	0	0	0	2	1	0	2	堺北	29	1	29	1	0	0	1	0	0	0
岩出	23	1	24	1	0	0	1	0	0	0	堺おおいずみ	26	3	25	3	0	0	0	1	0	1
河内長野高野街連	16	3	18	3	0	0	1	0	0	0	堺フェニックス	6	2	6	2	0	0	0	0	0	0
粉河	16	1	15	1	0	0	0	0	0	1	堺清陵	22	4	20	4	0	0	0	1	0	2
高野山	16	0	15	0	0	0	0	0	0	1											
羽曳野	10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	ワールド大塚 ロータリーモクラブ	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0
河内長野	20	4	20	4	0	0	0	0	0	0											
河内長野東	21	1	21	1	0	0	0	0	0	0	計	1,577	120	1,591	125	1	0	56	22	0	41



クラブ数	2022年7月1日 会員数				2022年12月末 会員数				12月入会				12月退会				増減			
65	男性	1,457	女性	120	男性	1,466	女性	125	男性	1	女性	0	男性	22	女性	0	男性	-21	女性	0
	1,577				1,591				1				22				-21			

クラブを成功に導く会員増強 みんなを温かく受け入れるクラブづくりを！

2022-2023 年度 国際ロータリー第2640地区
MY ROTARY 登録状況 [2023年1月24日現在]

2640地区	会員数	登録人数	登録率
2023年1月24日	1,610	710	44.10%

1 分区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	串本	6	1	16.7%
	那智勝浦	11	3	27.3%
	新宮	49	16	32.7%
	白浜	10	6	60.0%
	田辺	83	50	60.2%
	田辺東	37	10	27.0%
	田辺はまゆう	30	10	33.3%
	分区計	226	96	42.5%

3 分区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	Rotary E-club Sunrise of Japan	8	7	87.5%
	和歌山	75	51	68.0%
	和歌山アゼリア	28	7	25.0%
	和歌山東	50	34	68.0%
	和歌山城南	36	10	27.8%
	和歌山中	20	6	30.0%
	和歌山北	33	16	48.5%
	和歌山南	71	15	21.1%
	和歌山東南	37	11	29.7%
	和歌山西	10	1	10.0%
	分区計	368	158	42.9%

5 分区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	羽曳野	10	2	20.0%
	河内長野	21	20	95%
	河内長野東	21	2	9.5%
	松原	14	8	57.1%
	松原中	24	7	29.2%
	美原	4	0	0.0%
	大阪狭山	8	6	75.0%
	太子	17	11	64.7%
	富田林	34	20	58.8%
	分区計	153	76	49.7%

7 分区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	羽衣	17	9	52.9%
	和泉	20	5	25.0%
	泉大津	42	18	42.9%
	和泉南	57	10	17.5%
	大阪金剛	12	10	83.3%
	高石	25	10	40.0%
	高師浜	11	8	72.7%
	分区計	184	70	38.0%

目標達成 **14クラブ**

100% 達成クラブ
貝塚ロータリークラブ

2022-2023年度
登録率目標
65%

2 分区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	有田	26	14	53.8%
	有田南	23	3	13.0%
	有田2000	15	9	60.0%
	御坊	38	14	36.8%
	御坊東	13	7	53.8%
	御坊南	15	5	33.3%
	海南	9	5	55.6%
	海南東	45	39	86.7%
	海南西	15	1	6.7%
	分区計	199	97	48.7%

4 分区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	橋本	45	4	8.9%
	岩出	24	7	29.2%
	河内長野高野街道	18	10	55.6%
	粉河	15	9	60.0%
	高野山	15	8	53.3%
	分区計	117	38	32.5%

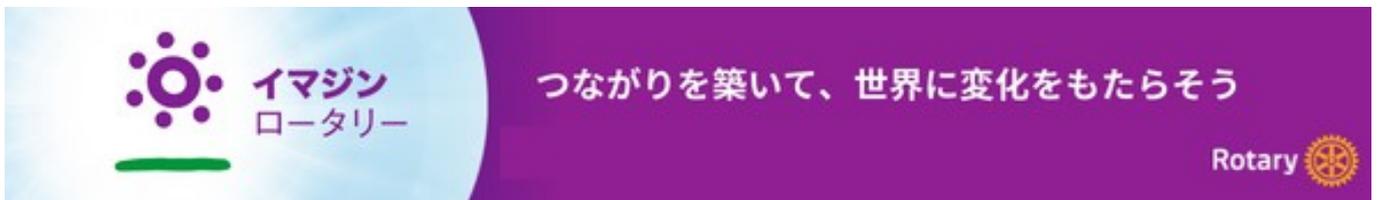
6 分区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	泉佐野	23	9	39.1%
	貝塚	14	14	100%
	貝塚コスモス	12	7	58.3%
	関西国際空港	16	4	25.0%
	岸和田	32	8	25.0%
	岸和田東	40	24	60.0%
	岸和田南	7	1	14.3%
	KUMATORI向日美	8	4	50.0%
	りんくう泉佐野	16	7	43.8%
	分区計	168	78	46.4%

8 分区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	堺	41	12	29.3%
	堺東	15	12	80.0%
	堺泉ヶ丘	23	6	26.1%
	堺中	20	5	25.0%
	堺北	28	10	35.7%
	堺おおいずみ	25	21	84.0%
	堺フェニックス	6	5	83.3%
	堺清陵	20	19	95.0%
	分区計	178	90	57.3%

9 分区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	ワールド大阪 ロータリーEクラブ	8	6	75.0%

2月の行事予定表

日付	行事	場所
5(日)	クラブ青少年交換委員長会議	和歌山県JAビル 和ABC
18(日)	第7回 DL研修	けやきONE401
	地区青少年・RYLA委員会会議 12:30~	ガバナー事務所
	ガバナー補佐・幹事合同会議 14:00~	シティイン和歌山第6会議室
19(日)	IAC国内研修報告会	未定
	全国RA委員長・地区RA代表合同会議	AP東京 八重洲
20(月)	第3回 ガバナー会議	グランドプリンスホテル新高輪 3階「平安」
26(日)	RAC地区献血	堺、泉佐野、御坊



ガバナー月信の表紙写真、活動の情報をお寄せください。

ガバナー月信は、地区と地区内クラブの情報交流を促進し、各クラブの運営、活動に活かしてもらうため、情報収集に努めています。皆様のご協力をお願いします。

お寄せいただける活動情報は、文書面、資料、写真をメールでガバナー事務所へご送付ください。また、毎号の表紙写真もご提供ください。

ガバナー月信は、国際ロータリー、地区、クラブの情報をとりまとめ、掲載情報の収集等、紙面の充実に努めてまいります。皆様のご協力をお願いします。

地区IT・ガバナー月信委員会

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

国際ロータリー
第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331
和歌山市美園町3-34 けやきONE 301号室
TEL (073) 426-2640
FAX (073) 426-2660
e-mail : morimoto@rid2640g.com

JR和歌山駅西口から徒歩7分
阪和道、和歌山インターから約10分

